

会 議 記 録

| | |
|-----|---------------------|
| 会議名 | 第2回 芦別市総合庁舎整備庁内検討会議 |
|-----|---------------------|

| | | | |
|-----|------------------------------------|-----|----------------|
| 日 時 | 令和元年11月6日(水) 午後2時00分から午後4時00分まで | 場 所 | 市役所 3階第1会議室 |
|-----|------------------------------------|-----|----------------|

第2回 検討会議の内容について、次のとおり記録したものである。

会 議 の 概 要

1 開会(危機対策課長)

開会とあわせて危機対策課長から挨拶。

【説明】以下、危機対策課長

- ・ P1については、庁舎の現状を掲載している。
- ・ P2～3は、前回の会議で出た意見と他市町の資料などを網羅しながら作成したものである。P3の「3現状の問題点と改善」は、新庁舎の建設が必要であるということをもう少し盛り込む予定である。

【意見】

委員には、自身が考える問題点を既出問わず付せんを書いてもらい、各項目に振り分けることとした。

P2～3 現状の問題点

(1)躯体・設備の老朽化／意見なし

(2)防災拠点機能の欠如／意見なし。危機対策課長から「災害対策本部を置くことが困難な状況である。」に対して、「置くことができないことが予想される。」と修正することとした。

(3)バリアの存在／①エレベーターがない②バリアフリー③トイレの洋式化④ユニバーサルデザインの充実・強化 などの意見が出た。

ユニバーサルデザインに関しての記載はないが、建設時に含まれるものであることから追記しないこととした。ほかは、記載内容に含まれるものとして修正なしとした。

(4)市民スペース等の欠如／意見なし

(5)駐車機能の不足／駐車場の集約

集約に関する具体的な意見を聞いたところ、現在の駐車場がL字型になっているので、新庁舎では前面に大きな駐車場を整備し、かつ高齢者や障がい者が冬期に足を取られないようロードヒーティングにならないかということであった。

庁舎の形が決まっていないため具体的な話ができないが、第一義的には、駐車場を広く、機能的に使える配置ということで、(5)の記載内容の変更はしないこととした。

(6)分散された狭い執務空間／①書庫の拡充②夏は暑く冬は寒い③庁内連携といった意見が出された。

新庁舎となれば冷暖房機能が強化されること。また、その他の意見は「行政ニーズに合致した組織・機構が配置できる空間になっていない」に含まれるものとして変更しないこととした。

P 4～5 新庁舎に求められる役割と機能

問題点を踏まえての役割と機能を記載していることを説明し、意見を求めたがあまり発言がなかったため、後日ペーパーに記載したものを集約することとした。

集約したのち、不足等があれば追記することとする。この中の(1)～(5)が基本方針になるので、意見を提出してほしいと説明した。

P 6～7 新庁舎の機能

問題点として出ているものが記載されていれば完了となると考えている。

問題点のうち「バリア」に関しては、躯体の事で機能に含まれるものではないので記載はされていないが、その他に関しては網羅されている。

また、その他で出ていたコンビニに関しては機能と異なるので入らない。以上を説明したのち、各項目の説明と意見を募った。

- 事務機能／意見なし
- 窓口機能／ワンストップを目指しているのか。→そのような声があることから将来的にはという考えがある。せめて、移動距離が短く手続きできるようにとっている。
- 議会機能／意見なし
- 防災機能／意見なし
- 市民機能／意見なし。情報提供は電光掲示板をイメージしていることを補足した。
- 職員関連機能／喫煙室は作るのか。→作る予定は無いと回答。
- 会議室の兼用機能／意見なし。建設コストの面からも兼用とすることを補足した。
- 倉庫機能／意見なし
- 環境との共生機能／意見なし
- 庁舎維持・セキュリティ機能／意見なし
- 駐車場等／意見なし
- 交通の利便性等／意見なし

今回は以上となるが、前回出された問題点は網羅されているものとする。役割・機能についても、現状資料のとおりとして進めるが、役割については後日意見を提出してもらい、機能の部分についても思いついたことがあれば併せて提出してほしい。提出された意見を確認したうえで資料を作成する。

【委員から提出された意見】

意見のうち、資料に記載されていないものを記載。

①基本理念／「人と地球にやさしく、市民のための利用しやすい開かれたまちづくりの拠点」

その他／将来的には図書館や教育委員会等の行政機関を集約できる庁舎。

②基本方針／図書館や銀行等の機能を総合庁舎に含めることを視野に入れているのであれば、基本構想から触れておく必要があるのではないかと。7ページに「倉庫機能」について記載があるが、文書類の電子デー

タ化を検討していくことも考えられる中、他のカテゴリの中で「倉庫、収納機能」について文章の記載があっても良いのかもしれないが、カテゴリの1つとして、「倉庫機能」はなくても良いのではないか。（もしくは、倉庫機能そのものについてあまり触れなくても良いのではないか。）

その他／人口減少が進む中、市民及び市職員が今後減少していくことから、先を見越した最小限の総延床面積にしていく必要があると考える。

③基本理念／文化、自然、ぬくもり（あたたかみ）、したしみ

④基本理念／「みんなで築く豊かで住みよい人と文化の輝くまち」を念頭に、様々な環境の変化に対応し、市民の安心の拠り所、安全の拠点となり、未来の芦別を市民と共に築いていける市民に開けた親しまれる新庁舎。

-基本理念に込める思い-

近年の台風災害や、地震災害など自然災害による環境の変化や、芦別市の人口減少などを「様々な環境の変化」と略し、ネガティブな印象を与えない文章にしている。そして、市民の精神的なもの、肉体的なものを守るという意味で安心の拠り所、安全の拠点という言葉を使っている。

最後に芦別市総合計画冒頭のみみんなで築くという言葉で「未来の芦別を市民と共に築いていける役所職員だけでなく市民みんなに開けた親しまれる新庁舎を建設する」という言葉で表した。

⑤基本方針／ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎項目の中に、「来庁者が短時間で適切なサービスを受けられる庁舎」等の文言があれば良いと思う。

他は芦別市新庁舎建設基本構想たたき台の内容で新庁舎建設に求められることは網羅されていると思う。

⑥基本理念／基本理念を完璧に現実化することが困難な時のため、その優先度もあわせて考えておくとよいと思う。

その他／庁舎の建設場所次第では、市民同士の交流の場・憩いの場を福祉センター、イベント用の屋外スペースを公園の再整備でカバーできるかの検討も必要かも（建設費用の減少幅が大きくなれば）

⑦基本理念／どの市町村でも総合計画に基づいたものになっていたもので、大きく逸脱しない報告で良いと思う。

第6次総合計画の目指す将来像である「みんな築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」を具現化し、現庁舎の課題等を解消するとともに、利便性、効率性、安全性に優れた拠点とします。

⑧基本方針／何か一つのテーマに特化してもよいのではないか。行政機能に特化した方向性が望ましい。

⑨基本理念／「時代の変化に対応し、市民と向き合い、寄り添うことができる庁舎」

時が進むにつれて、国や市民から求められる要素にも変化が出てきている。さらに災害が増えてきて、北海道でさえ100%安全といえない時代となってきたことから、時代に対応できる柔軟な庁舎である必要がある。

だが、芦別市は2人に1人が高齢者のまちであるため、新しいことについていけない人がたくさんいることから、そのよう人たちの声をしっかりと聞くという意味を込めて「向き合う」、さらにその人たちの声に対して、対応するという意味を込めて「寄り添う」という言葉を用いました。時代の変化に取り残されないように芦別市民すべての人に対して優しい庁舎であればと思う。

(終了)